

## 1 学期終業式

皆さんおはようございます。早いもので、1学期が終わり、夏休みに入ります。皆さんは、納得のいく1学期を送れましたか。送れたという人は手を挙げてください。

ところで、皆さんは「有終の美」という言葉を知っていると思います。では、どういう意味かわかりますか。一般に、「終わりを立派に締めくくることが」という意味で用いられることが多いように思います。似たことわざに「終わりよければすべてよし」がありますが、これは、結果がよければ途中のことは問題としません。ところが、「有終の美」は違います。「有終の美」の語源は、中国の古い教えを記した『詩経』の中にある「初めは有らざる無し、克く終り有るは鮮し」という言葉によります。「物事の初めは皆努力するが、その努力を継続して有終の美を飾ることができる者は少ない」という意味です。つまり、「有終の美」は「努力を最後まで継続して事を成し遂げること」を言います。4月当初、皆さんは「よしやるぞ」という意気に燃えていたことと思います。しかし、今は、どうでしょうか。気持ちが萎えていたり、妥協したり、諦めたりしている人はいませんか。こうした我々への戒めとして「有終の美」という言葉があるのだと思います。ぜひ、初心に戻って努力を継続してください。

ここで細胞の話をしてします。人間には約60兆個の細胞があると言われていています。人間はまさに生きた細胞の塊です。そのうち、15兆個が毎日なくなり、そのなくなった分が補われています。脳細胞について言えば、3歳頃まで増殖し続け、その後はほとんど増えません。10代から徐々に減少しはじめ、20歳になると、誰でも1日20万～30万個の規模で脳細胞は死滅すると言われていています。つまり、皆さんの脳細胞は今徐々に減少しつつあります。では、どうしたらそれを防ぐことができるのか。答は単純です。脳をどんどん使うことです。脳は、使えば使うほど活性化します。ある本によると、脳は決して疲れそうさずです。

さて、皆さんにはそれぞれに具体的な進路目標があるはずですが、この夏休み、自堕落な生活を送ることなく、部活動やボランティア活動などを通して心や体を鍛える一方で、学習や読書などを通して脳を活性化させ、進路実現に結びつけてください。

この夏休みはそれぞれの学年にとって非常に大きな意味を持ちます。

1年生は、部活動でこの暑い夏を乗り切ることにより精神的にも、肉体的にも、技術的にも大きく成長できます。学習面では、1学期に出遅れた分を取り戻す絶好のチャンスです。2学期をスムーズにスタートするための準備期間にもなります。

2年生は、3年生が引退した後の部活動の中心として頑張る時期です。この夏の頑張りが新人戦の結果を大きく左右します。学習面では、まだ周囲が本格的に受験勉強をしていない今こそが成績を大きく伸ばすチャンスです。志望大学が実施するオープンキャンパスにも積極的に参加してモチベーションを上げ、学習の質・量ともにハードルを上げて越える努力を惜しまないでください。

3年生は、言わずもがなです。学校生活の中で培ってきた集中力・粘り強さ・根性を発揮する時がきました。そのためにこの2年半があったと言っても過言ではありません。就職・公務員志望の人、しっかりと対策を立て妥協せず納得のいくまでやりきってください。進学志望の人、「夏を制する者は受験を制する」と言われます。この夏の頑張りを期待しています。しかし、必死に勉強しても、すぐに結果は出るとは限りません。早い人で3ヶ月後です。逆に考えると、この夏休みに頑張らないと受験には間に合わないこととなります。必ずや志望校に合格するぞという不退転の強固な意志を持って、この夏休みを乗り切ってください。

最初に頑張るのは当たり前。大事なことは、本気になって、ひたむきになって全力で立ち向かうこと、そしてその努力を最後まで継続すること。皆さんにはそれができる。明高生全員で有終の美を飾ろうではありませんか。

それでは、9月にこうして全員が元気に登校してくれることを願って、式辞とします。